

こんなに費用がかかるなんて

- ① 教科書のP52～53を読み、町田市のごみの量やごみの処理にかかる費用の変化について読み取ろう。
・教科書P52の「市のごみの量(しりょう ア)」と「市のごみの処理にかかる費用(しりょう イ)」をみて気付いたことを書き出そう。

市のごみの量の棒グラフをみてわかること

市のごみの処理にかかる費用の棒グラフをみてわかること

市のごみの量と市のごみの処理にかかる費用の棒グラフを合わせてみてわかること

- ② 教科書P52の「昔の買い物(しりょう ウ)」と「今の買い物(しりょう エ)」の絵をみて、ごみが増えた理由を考えましょう。

(ヒント 昔はとうふをどうやってもらっているかな?今はどうやって売っている?)

・昔の買い物では、

- ③ 「ごみの処理のしかたのうつり変わり(しりょう オ)」からわかることをまとめよう。
・70年ほど前には、()や()で、ごみをもやしたり、あなをほってうめたりしていた。
・60年ほど前に、ごみの量がふえてきたので、()などで集めて処理するようになった。
・今は、ごみをより()収集するようになった。いろいろな種類のごみを()に変えて、ふたたび利用しています。
- ④ 「環境資源部の沓掛さんの話」を読んでわかったことをまとめましょう。

ごみの量
処理費用

大

町田市がしたこと

・市が決めた()を買ってもらう。

市民や市内で働く人々と話し合っで決めたこと

・希望する地域に、()をたい肥にかえる処理機を貸し出す。

・処理機を買いたい人に、()を出したりするしくみを作った。

市で働く人々の取り組み

- ① 教科書 P54 「給食室での取り組み」(しりょう ア) と (しりょう イ)
- ・ほねやたまごのから → 「」もやすごみとして焼却処分
 - ・その他の食べ残しなど → 「に変わるしせつ」 ください、よくかわかす。
- ※ものによっては、動物のえさになることもある。

生ゴミを、さらに分別するなど、工夫をしているんだね。

⇒ 4年生も、給食の片付け方を工夫して、給食室に協力できると良いね。

- ② 教科書 P54 「給食をつくる栄養士の先生の話」を読みましよう。

- ・みなさんが給食を食べ残すことのないように、こんだてや料理の方法を工夫しています。
- ⇒ 食べればわたしたちの栄養になるけど、残せば生ゴミになっちゃうんだね。
- ・給食から出たごみは、処理のしかたに合わせて () し、回収する会社に引き取ってもらいます。
 - ・ごみの多くは、() などに換えられ、利用されます。

- ③ 教科書 P55 「スーパーマーケットの店長さんの話」を読みましよう。

- ・生ごみや野菜の切りくず → ぶたなどの () や野菜を育てるための () になります。
- ・天ぷらに使った油 → 品物を運ぶトラックの () のもとになります。

こうした取り組みはごみとして捨てるより、費用がかかる。

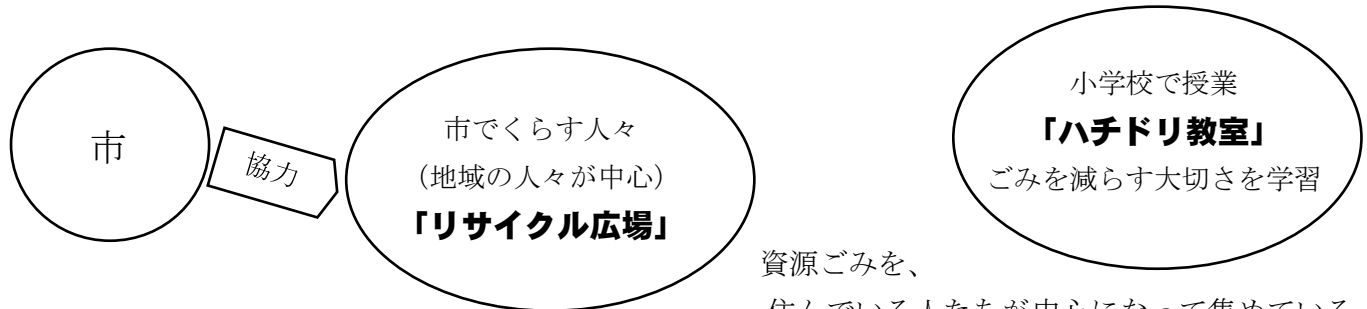
でも、とても大切なことなので、スーパーマーケットとしても協力している。

- ・店に来るお客様に () の持参を呼びかけている。→ () をへらす。

教科書 P56 ~ 57

市でくらす人々の取り組み

- ④ 教科書 P56 ~ 57 を読んで「リサイクル広場」「ハチドリ教室」の取り組みについてまとめましよう。



- ・資源ごみ → 回収箱に () している。
- ・来てくれた人に、() からつくった () をあげる。
- ・使わなくなった () を、再利用したい人にあげる。

わたしたちにできることは

① 教科書 P58～59 を読んで「3R」についてまとめよう。

「3R」(スリーアール)

リユース (Reuse) → ()

リデュース (Reduce) → ()

リサイクル (Recycle) → (ごみを資源に変え、)

② ごみの量をへらすために、自分たちにできることは何かを、考えてみましょう。

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

※地域にくらす人々の中の一員として、小学生の自分たちにできることはどんなことだろう。

大きなアイデアではなくても、小さなアイデアで良いので自分で出来ることをたくさん書こう。

③ 教科書にのっている有名な「3R」以外にもRはたくさんあるみたいです。どういう意味かな。

リフューズ (Refuse) → ()

リペア (Repair) → ()

リターン (Return) → ()

リフォーム (Reform) → ()

リバイ (Rebuy) → ()

リジェネレーション (Regeneration) → ()

レンタル (Rental) → ()

※答えものせておきます。自分で調べたい人は見ないでね。

名称	主な意味
Reuse (リユース)	一度使われた物をそのままの形で再利用すること
Reduce (リデュース)	ごみの量そのものをできるだけ減らすこと
Recycle (リサイクル)	不要となったものを回収・再生・再資源化し再び利用すること
Refuse (リフューズ)	不要なものや余計なものを買わない・もらわないこと
Repair (リペア)	必要な修理をして、再使用し長く使い続けること
Return (リターン)	購入先に戻せるものを戻すこと
Rebuy (リバイ)	リサイクルされたものを購入すること
Regeneration (リジェネレーション)	再生品の使用を心がけること
Rental (レンタル)	一時的に使うものは借りて、物を増やさない
Reform (リフォーム)	改善や改良を心がけてものを大事にすること
Rule (ルール)	ごみの分別などの際には決められたルールを守ること
Responsibility (リスボンシビリティ)	不要なものの処分に最後まで責任を持つこと
Relax (リラックス)	あれもこれもと無理をせずできるものから始めること